

- ① … 昌平高校3位入賞、聖望学園初戦突破!平成28年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会
- ② … 女子のみ関東を突破~第71回国民体育大会関東ブロック大会結果報告 技術委員長 福田 直史
- ③ … // ●成年男子 ●女子 ●少年
- ④ … 「エンジョイと競技性の狭間に揺れて」~シニア座談会~
- ⑤ … シニア座談会 続き
- ⑥ … 大会記録●県内大会 1種社会人・3種・4種・フットサル
- ⑦ … 大会記録●県外大会 1種自治体・2種高校・2種クラブ・3種中体連・3種クラブ
- ⑧ … 大会記録●県外大会 4種・女子・シニア・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

昌平高校が初出場ながら3位入賞、聖望学園も初戦突破 ~平成28年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会/2016情熱疾走 中国総体~

今年は広島県で開催された高校総体において、昌平高校が3位という成績を収めてくれました。2回戦では昨年の覇者である東福岡に一度は逆転しながら追いつかれ、そこからアディショナルタイムで逆転勝ちを収めました。その後も前橋商業、静岡学園と強豪校を連破したことは、大きな自信に繋がったと思います。

聖望学園も名門徳島市立に完勝し、全国大会の初陣を見事突破しました。2回戦は鹿島学園に先制されながらも逆転に成功し、そのまま逃げ切れると思われたアディショナルタイムに同点とされてしまい、PK戦で敗れてしまいました。残念な結果でしたが、大会にインパクトを与えたのは間違いのないでしょう。

両校とも、ここから高校選手権に向けての“仕上げ”が非常に楽しみです。高校総体の県代表になれなかったチームには、奮起を期待しています。

7月26日~8月2日 広島広域公園エディオンスタジアム広島他

1回戦	中津東(大分)	0 - 5	昌平
	徳島市立(徳島)	1 - 4	聖望学園
2回戦	東福岡(福岡)	2 - 3	昌平
	聖望学園	2 - 2	鹿島学園(茨城)
		(5PK 6)	
3回戦	昌平	1 - 1	前橋商業(群馬)
		(4PK 3)	
準々決勝	昌平	1 - 0	静岡学園(静岡)
準決勝	昌平	0 - 1	市立船橋(千葉)

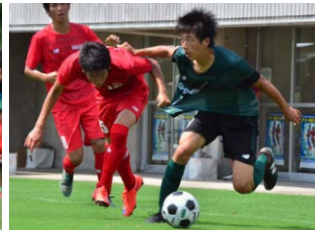
※優勝は市立船橋(千葉)。



1回戦 聖望学園 vs 徳島市立



1回戦 昌平 vs 中津東



2回戦 昌平 vs 東福岡



3回戦 昌平 vs 前橋商業



2回戦 聖望学園 vs 鹿島学園



準々決勝 昌平 vs 静岡学園



準決勝 昌平 vs 市立船橋



聖望学園高校



昌平高校

女子のみ関東を突破～第71回国民体育大会関東ブロック大会結果報告

(公財) 埼玉県サッカー協会技術委員長 福田 直史



福田 直史 技術委員長

本年度の国体関ブロが行われ、残念ながら昨年と同じ、女子のみの関ブロ突破となった。少年男子は12年前にU-16大会に変更されてから10年間連続で本大会出場していたが、昨年度より2年連続で本大会出場を逃してしまった。8分の4出場できることを考えたら早急に対策を考えなくてはならない。成年男子と女子は8分の2の出場枠と厳しいが、女子はレッズレディースの協力で安定した力を発揮している。成年男子は過去日本リーグにも在籍して

いた埼玉教員クラブが常に本大会優勝争いをしてきた時期から年月が経ち、さいたまSCとなったが、新旧交代がうまくできず、関東サッカーリーグで実績を上げることができなくなったことが大きな原因と思われる。これらの現状の中、本年度は再び県大学リーグ選抜で大会に臨んだが、残念ながら内容では勝っていたものの本大会出場を決めた千葉に惜敗して本大会出場を逃した。

●成年男子

1回戦 埼玉県 1-2 千葉県

前半開始2分にゴール左サイドで不用意なフリーキックを与えシュート気味のクロスを押しまれ先制されるが、その後はペースを取り戻してドリブルとワンツースで左サイドを崩しクロスからゴールを決め追いつくと、その後は埼玉のゲーム支配となり千葉はカウンターを狙う展開となった。後半20分過ぎまでに埼玉が相手ゴール前に攻め込み再三チャンスが生まれたが、決めきれないところで一瞬の集中力欠如からディフェンスの単純ミスでボールを奪われGKと1対1をつくられ決勝ゴールを決められてしまい、残り時間も少なく千葉に逃げ切られた試合であった。

スタッフ・選手ともにとってもよい経験にはなったが、準備不足と経験不足が結果につながった。社会人の奮起も含め、早急に1種で話し合いを持ち、来年度の体制を整え、本大会でも戦えるチームづくりをしていきたい。

●女子

1回戦 埼玉県 2-1 群馬県

代表決定戦 埼玉県 2-1 神奈川県

どちらの試合も先制して優位な展開で試合を進められたが、昨年よりパスの連携が悪く連続攻撃ができないことと、若干DFラインの安定感がないためどちらの試合も失点を許したが、総合力ではどちらの試合も勝っていた。各カテゴリー代表の試合などで選手が揃わないことがあり、本大会ではレッズレディースの試合もありメンバーが変わることが今後の課題となるが、レッズには国体も強化の一環として今後も関わってもらいたい。若手の選手にはとても貴重な体験となる大会です(天皇杯と国体の優勝メダルはほぼ同じです)。

●少年

1回戦 埼玉県 3-2 栃木県

代表決定戦 埼玉県 0-2 神奈川県

レッズ・アルディージャの選手に加え、早生まれの正智深谷・浦和学院の選手が活躍した大会であった。栃木戦は前半からゲームを支配し危なげなく試合を進め、残り5分で3-0とリードしメンバーを交代したが、相手もセンターバックを上げてパワープレーにきたため対応が後手になり2失点し課題を残した。

代表決定戦は、茨城にPK戦で敗れた神奈川と対戦。7月にトレセンリーグで敗れている相手でリベンジ戦となった。前半は埼玉がボールを支配してゲームを展開していたが、アタッキングソ

ーンでの仕掛けが少なく、得点を上げられず前半を終了する。

後半は互角の戦いとなったが、やや疲れの出てきた埼玉のミスが目立ち始めマークがルーズになり、左サイドから右サイドに展開されたところでマークを余らせてしまい失点する。点を取りに攻め続けるも残り時間の少ないところでコーナーキックを取られ、ゴール前でフリーな選手をつくりヘディングで決められ0-2で敗れた。力を出し切れなかった大会となった。

今後の課題は、スタッフの人選・各チームの全面協力・流出選手の防止と流入選手の発掘・強化行事の見直しなどを2種・3種で話し合い、早急に来年度のスタートを切らなければいけない。

技術委員会の目標は、3種別とも本大会に出場し、すべて3位以内に入賞し、天皇杯を獲得することです。皆様のご協力をお願いいたします。

成年男子 監督 西川 誠太 (平成国際大学)

番号	位置	名前	チーム名
1	GK	石井 徹	尚美学園大学
2	DF	太田 宏司	共栄大学
3	DF	福山 諒	平成国際大学
4	DF	井上 耕治	埼玉工業大学
5	DF	島田 武虎	平成国際大学
6	MF	逢坂勇一郎	埼玉工業大学
7	MF	平賀 裕貴	共栄大学
8	MF	馬場 航	獨協大学
9	MF	恵賀 勇太	共栄大学
10	FW	市原 駿	埼玉工業大学
11	FW	永石 大世	平成国際大学
12	GK	原 剣之介	平成国際大学
13	MF	荻原 修作	尚美学園大学
14	FW	野々宮任亮	尚美学園大学
15	FW	古澤 将司	尚美学園大学
16	DF	田中 輝由	埼玉工業大学



1回戦 埼玉県 vs 千葉県



埼玉県選抜・成年男子

女子 監督 下山 薫 (浦和レッズレディースユース)

番号	位置	名前	チーム名
1	GK	染谷 海優	尚美学園大学
2	DF	栗原妃奈子	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
3	DF	久保真理子	浦和レッズレディースユース
4	DF	長嶋 玲奈	浦和レッズレディースユース
5	DF	井之川茉優	浦和レッズレディース Jr. ユース
6	DF	三木 萌子	順天堂大学
7	MF	加藤 千佳	浦和レッズレディース
8	MF	栗島 朱里	浦和レッズレディース
9	FW	ワタリユキ	浦和レッズレディースユース
10	FW	青木 知里	東京国際大学
11	MF	遠藤 優	浦和レッズレディース
12	DF	高橋恵美理	浦和レッズレディースユース
13	MF	木崎あおい	浦和レッズレディース
14	MF	小嶋 星良	浦和レッズレディースユース
15	MF	金勝 里央	浦和レッズレディースユース
16	FW	高橋 はな	浦和レッズレディースユース

少年男子 監督 平尾 信之 (埼玉県立浦和東高校)

番号	位置	名前	チーム名
1	GK	村田 耀	大宮アルディージャユース
2	DF	白土 大貴	浦和レッズユース
3	DF	吉永 昇偉	大宮アルディージャユース
4	DF	大桃 怜音	浦和レッズユース
5	DF	白根 和紀	大宮アルディージャユース
6	MF	上野 夏輝	浦和レッズユース
7	MF	安島 樹	大宮アルディージャユース
8	MF	森 侑里	大宮アルディージャユース
9	FW	梶谷 政仁	正智深谷高校
10	MF	田中 和樹	浦和学院高校
11	FW	岡村 勇輝	浦和レッズユース
12	GK	石井 僚	浦和レッズユース
13	FW	渡辺 俊介	大宮アルディージャユース
14	MF	池高 暢希	浦和レッズユース
15	DF	大城 蛍	浦和レッズユース
16	MF	松川 隼也	三菱養和SCユース



1回戦 埼玉県 vs 群馬県



1回戦 埼玉県 vs 栃木県



代表決定戦 埼玉県 vs 神奈川県



代表決定戦 埼玉県 vs 神奈川県



埼玉県選抜・女子



埼玉県選抜・少年男子

「エンジョイと競技性の狭間に揺れて」 ～シニア座談会～

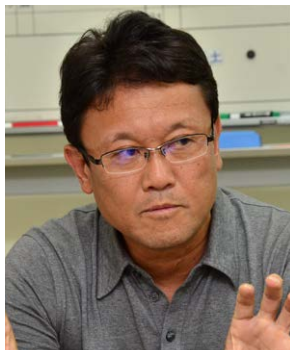
Jリーグが発足して20年あまり。様々なサッカーシーンを変革していきましたが、ここシニアまでその影響は広がっているそうです。今回は、秋谷仁新理事長を囲んで、各カテゴリーの担当者に集まっていただきました。

【出席者】 秋谷 仁 理事長
O-60統括担当・池田 幸二 理事
O-50統括担当・関口 裕 理事
O-40統括担当・樫村 憲二 理事
企画担当・尾高 泰平 理事

競技性が高まっているO-40

— 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。シニア連盟の新理事長に秋谷さんが就任されたということもあり、秋谷さんをはじめ、40、50、60とそれぞれのご担当者の抱負と現状を共にお話しいただくと助かります。まずは現状をお聞きし、そこに秋谷さんから一言いただくという形にしましょうか。よろしく願います。

樫村 オーバー40担当の樫村です。以前は県内を南北に分けてリーグ戦を行って来ました。これは遠出をしたくない人が多かったことが理由なのですが、他県を見ても地域で分けをしているところはあります。またそれでは本当の意味での強弱がはっきりしないということもあり、チーム数が多くなり再編が求められたところで、1部・2部制とし、昨年3部を設けました。これからシニア人口が増えていく中、4部も見据えているところです。



樫村 憲二 理事

秋谷 40は競技性が高くなっており、選手の皆さんは勝ち負けをはっきりすることを望んでいらっしゃる。ただ一方で「楽しみたい」という方たちもいらっしゃる。この2つを網羅できるリーグにできればと考えています。

樫村 「楽しみたい」「エンジョイしたい」という“考え方”の問題があります。実際、40ではJリーグ経験者が加わるようになってきています。全体的に競技レベルが上がっていく中、どうするの



O-70 スーパーシニア in 埼玉スタジアム

か。また40としては、全国優勝を目指しています。本当に「楽しみたい」のであれば、市町協会でのシニアリーグもありますからね。とはいえ、シニアの楽しみは、元日本代表と一緒に試合ができるということ(笑)。難しいところです。

関口 オーバー50担当の関口です。全国的に1部・2部リーグとなっていて、6年目になりますね。リーグ運営としては大きな問題はないのですが、リーグを立ち上げた皆さんがオーバー60に行くなどメンバーが入れ替わっている時期だと思っています。そのため、いろいろな意見が出ており、その集約と調整が必要だと考えています。そこで、オーバー50の主催大会を検討しているところです。人集めを含めて組織づくりを始めたところで、全国から来ていただける大会にしたいと思っています。



関口 裕 理事

秋谷 50もチーム数が増えていて、2部が14チームになりましたから、もうそろそろ3部も立ち上げなければならないと思っています。

樫村 ただ、40で“燃え尽き症候群”みたいになってしまう人もいます。

秋谷 シニアには卒業や引退が無いので選手数は増えていきますね。

関口 40の樫村さんや50の私は、60に向けての橋渡し役ですよ。

秋谷 続けていただくことが一番。しかし、拡大していくのは大変です。リーグの2部制はすぐにできましたが、3部となると……。

樫村 拡大していくとレギュレーションが難しくなりますね。

秋谷 インナーの色は同色にしないといけなとか、「そこまでやるの?」というルールを作っていますからね。60、お願いします。

池田 オーバー60の池田です。オーバー60は60、65、70を網羅しており、今年は75も2チーム参加してくださっています。全国的に高齢化社会を迎える中、連盟として「生涯にわたってサッカーをしよう」と働きかけています。また、60歳以上になったら5歳刻みにしないと持たないという現状もあります。70も4チームになったんですね。



池田 幸二 理事

頭がいたいのは、楽しみたいという人のバランスと、試合に来たら参加できるような環境づくりですね。来たら、必ず40分はやりたがる(苦笑)。かといって、多く集まるときもあれば、集まらないときもあります。事前登録が必要ですが、一つ下のカテゴリーまでは出場できるようにしています。

長寿社会になる中で、月1、2回はグラウンドに出たい人がいます。まずはサッカーを楽しんでもらうことが大事なのです。なんとか地域で1チームあるといいですね。

秋谷 50のチームが3つで60のチーム、一つになるとか。

池田 同年代がまだサッカーを続けている、というのは励みになると思うんですよ。

秋谷 また40、50の時にガチガチやっていた人たちが60と一緒にプレーするというのも面白いものです。

池田 一度辞めた人も戻ってくるという話をよく聞きます。60になったら、レベルが違って楽しめればいいんです。ケガしない、ケガさせない、そしてグラウンドで倒れない(笑)。

ライフスタイルを含めた「姿勢」

秋谷 40から75まで、いろいろな形があっていいですよね。そこで企画担当の尾高さん、お願いします。

尾高 尾高です。いろいろと話が出ましたが、企画担当としては「エンジョイ」を確立していきたいと考えています。40の「勝ちたい」人たちとは違う人たちが楽しめる場作り、環境作りが急務だと思います。そこでヨコの交流ですね。県だけではなく、関東レベルでの交流を考えています。



尾高 泰平 理事

あと45歳、55歳という年齢の人たちがそれぞれターニングポイントを迎えます。それぞれを超えると活躍の場が少なくなります。

「リーグ」ではなくても、ゲームとして、オープン大会として楽しむことのできる場が必要だと思うのです。

どうしても様々な「狭間」に立つ人が出て来るものです。一生懸命やっているのに「やりすぎ」。楽しくやりたいと思うと「もう少しキチンとやろう」。そういう「思ってしまう」人たちのはけ口になるようにイベントができればと思うのです。

現実的に「本当にできるのか」とは聞かれます。遠くから来てもらうことを考えると、雨でもできる環境が欲しいですし、時期的な問題も考えなければいけません。声をかければ、県内で1チームくらいは作れると思います。ただ、皆さんが乗ってきてくれないと企画そのものが悪いということになりますので、こちらとしては「エンジョイ」にならないのですが(笑)。

秋谷 まずは「オープン大会」としてスタートできれば、いろいろと変わってくると思います。

尾高 県内でもそうですが、県外にも出て行きたいと思っています。今以外の環境を整えていきたいのです。

櫻村 エンジョイの部分はわかるのですが、参加したいと手を挙げる人が少ないのではないかと懸念しています。40だと休みの中からリーグ戦と大会の日程を割いています。それ以外のイベントには参加してくれないのではないのでしょうか。

池田 基本的に誰もが会社・仕事優先で、予定が空いている日にサッカーをしていました。これは永遠のテーマですね。

秋谷 私なんか、休みの日はサッカーばかりでしたけれどね(苦笑)。

櫻村 2年前からシーズン開幕に合わせて「キックオフイベント」を行っていますよね。シニアすべてのカテゴリーのチームから2、3名来ていただき、楽しんでいただいています。こういうのはいいと思うんです。その上で、エンジョイと競技性の部分をどうすればいいのか……その狭間で毎週悩んでいるようなものです。

尾高 どの年代もサッカーをやりたいんですよ。その中で勝つことだけを優先にするのもよくないですし、負けた後に笑っているのもよくないと思います。そのバランスですよね。

秋谷 ピッチでもそうですが、家庭でもいいプレーができるかどうかですよ(笑)。あれこれ言いながらも送り出してくれる、各ご家庭ご家族をリスペクトしたいですね。だから、各チームでご家族も楽しめるように、バーベキューや屋形船などのイベントを企画しているという話も聞いていますし、ぜひやってほしいですね。

あとはどれだけ、チームのみんなが楽しめているのか、そして自分が楽しめているのかですよ。常に俯瞰した位置から見ていきたいですね。

池田 人が少ないと、試合に行く義務もあります。試合が成り立たなかったらどうしようというのも考えていますし、試合に行



O-70 スーパーシニア in 埼玉スタジアム

く努力をしているんです。自分のライフスタイルを含めた「姿勢」がシニアのサッカーではないでしょうか。

秋谷 試合に出ていることそのものが、ストレス発散になっていると思うんですけどね。あと、60歳でも60のチームじゃ一番下っ端ということを楽しめない(笑)。

池田 それに続けることで、20年ぶりに仲間に会えたりするわけですよ。

——リーグの拡大が進むということでしたが、課題はグラウンドでしょうか。

秋谷 そうですね。チーム数が増えるということは、試合数が増えるということです。会場を押さえるのが難しいですね。全県的なリーグではありますが、現状を見れば試合はほとんど北部で行っている状態です。まあ、この年になって、すり傷は作りたくないという声は多く聞かれます。



秋谷 仁 理事長

池田 SFAのホームページに市町村のグラウンド情報があるといいですね。

櫻村 それを掲載すると、登録していないチームへの情報提供になるので難しいですよ。

——実際問題、網羅するのは難しいですね。

池田 SFA NEWSでもっとシニアを紹介してください。まだまだシニアのことを知らない人は多いです。特に子どもたちに知ってほしいんですよ。また、以前やっていたように女子との交流試合も再開したいものです。

秋谷 話は尽きませんが、今日はありがとうございました。とにかく、シニアサッカーを活性化させていきたいと思っています。またやりましょう。

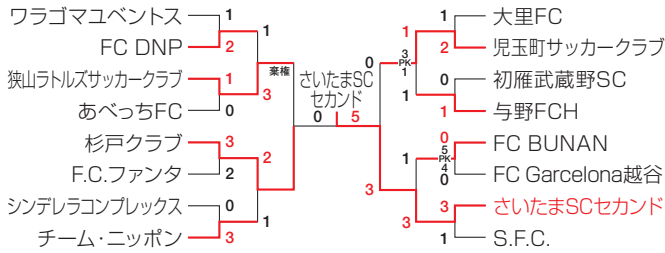


大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

第23回全国クラブ選手権大会埼玉県大会

6月12日～7月24日 くまびあ他



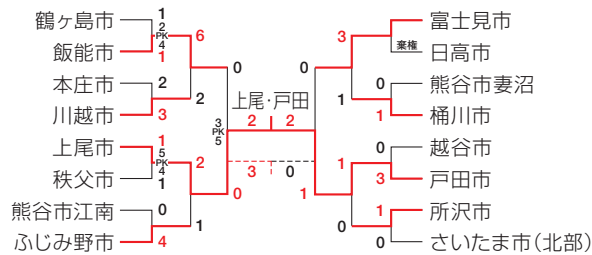
※優勝したさいたまSCセカンドは関東大会に出場する。



さいたまSCセカンド

2016年度埼玉県「県民総合体育大会」サッカーの部

7月31日～8月28日 東松山市岩鼻サッカー場他

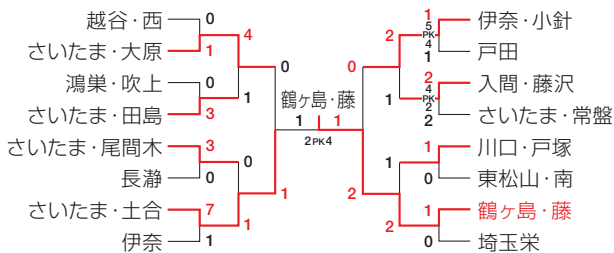


※延長・引き分けのため、大会規定により上尾市と戸田市、両チームが優勝

3種

平成28年度学校総合体育大会中学校サッカーの部

7月16日～28日 駒場スタジアム他



※優勝した鶴ヶ島市立藤中学校と準優勝のさいたま市立土合中学校は、第47回関東中学校サッカー大会に出場する。



優勝 鶴ヶ島市立藤中学校



準優勝 さいたま市立土合中学校

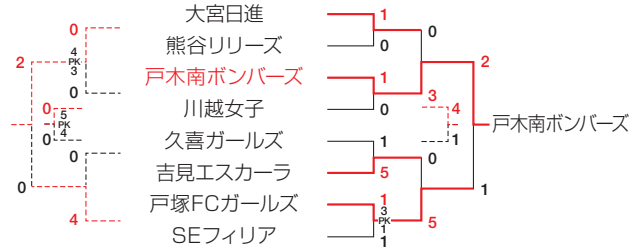


学校総合体育大会中学校サッカーの部決勝 鶴ヶ島市立藤中学校

4種

第14回埼玉県少女サッカーフェスティバル決勝大会

7月2日、3日 くまびあ

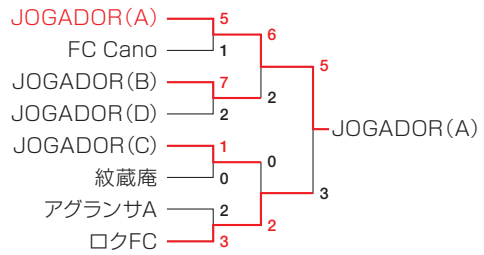


※優勝した戸木南ボンバーズを含む上位7チームは第14回8都県少女サッカーフェスティバルに出場する。

フットサル

第22回全日本ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

8月13日～28日 くまがやドーム体育館他

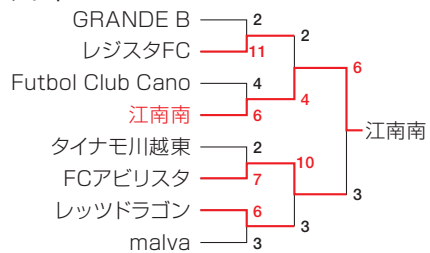


※優勝したJOGADOR(A)は関東大会に出場する

パーモントカップ第26回全日本少年フットサル大会埼玉県大会

6月4日、7月2日、3日 くまがやドーム体育館他

●決勝トーナメント

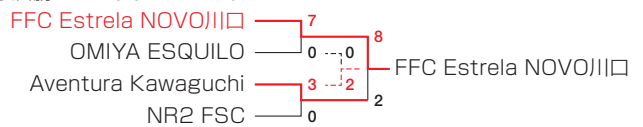


※優勝した江西南サッカー少年団は本大会に出場する

第13回全日本女子フットサル選手権大会2016埼玉県大会

8月6日、7日 春日部市庄和体育館

●決勝ラウンドトーナメント



※FFC Estrela NOVO川口が優勝し、関東大会に出場する

第7回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

7月2日～9日 くまがやドーム体育館

●決勝トーナメント



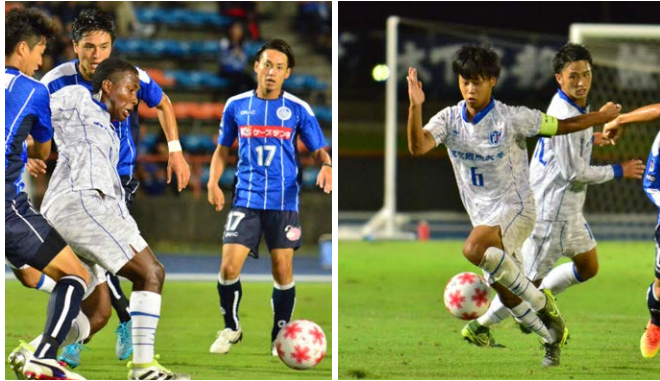
※SEフィリアFCが優勝し、関東大会に出場する

大会記録●県外大会

第96回天皇杯全日本サッカー選手権大会 1回戦

8月27日 ケーズデンキスタジアム水戸

水戸ホーリーホック 1 - 0 東京国際大学



東京国際大学 vs 水戸ホーリーホック

1種・自治体

第45回全国自治体職員サッカー選手権大会南関東予選会

6月11日～13日 千葉市青葉の森スポーツプラザ陸上競技場

1回戦	所沢市役所	3 - 0	船橋市役所
	さいたま市役所	3 - 2	小田原市役所
準決勝	藤沢市役所	1 - 0	所沢市役所
	さいたま市役所	3 - 0	市川市役所
3位決定戦	所沢市役所	0 - 3	市川市役所
決勝	さいたま市役所	3 - 2	藤沢市役所 (延長)

※優勝したさいたま市役所、4位の所沢市役所は全国大会に出場する

2種・高校

平成28年度全国高等学校定時制通信制体育大会 第26回サッカー大会

8月5日～9日 I A I スタジアム日本平他

2回戦	松栄学園	8 - 0	武生
	倉敷翔南	0 - 4	大宮中央(通)
3回戦	松栄学園	3 - 2	学悠館
	前橋工業	0 - 3	大宮中央(通)
準々決勝	松栄学園	2 - 2	八王子拓真 (2PK4)
	世田谷泉	0 - 0	大宮中央(通) (4PK1)

※八王子拓真、世田谷泉の両校優勝

2種・クラブ

第40回日本クラブユースサッカー選手権

7月25日～8月4日 味の素フィールド西が丘他

●グループステージ

Aグループ		勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
2位	浦和レッズユース	5	1	2	0	2	1	+1

Eグループ		勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
1位	大宮アルディージャユース	7	2	1	0	8	2	+6

●ラウンド16

FC東京	2 - 0	浦和レッズ
大宮アルディージャ	0 - 1	清水エスパルス

※優勝はFC東京U-18

第40回日本クラブユースサッカー選手権関東大会

5月15日～6月12日 日立柏総合グラウンド他

1回戦	浦和レッズ	5 - 1	FC Gois
	大宮アルディージャ	6 - 0	杉並FC
2回戦	浦和レッズ	0 - 1	東京ヴェルディ
	大宮アルディージャ	5 - 1	SC相模原
準々決勝	大宮アルディージャ	0 - 1	横浜F・マリノス
敗者復活戦	鹿島アントラーズ	0 - 0	浦和レッズ (4PK5)
	浦和レッズ	6 - 0	トリプレッタ

※優勝は横浜FC。6位の大宮アルディージャ、10位の浦和レッズは本大会に出場する。

3種・中体連

第47回関東中学校サッカー大会

8月7日～9日 NACK5スタジアム大宮他

1回戦	鹿嶋市立鹿島中学校	4 - 1	さいたま市立土合中学校
	鶴ヶ島市立藤中学校	0 - 2	駿台学園中学校

※優勝は暁星国際中学校



1回戦 さいたま市立土合 vs 鹿嶋

1回戦 鶴ヶ島市立藤 vs 駿台学園

3種・クラブ

第22回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

6月18日～7月10日 河口湖サッカー場他

1回戦	浦和レッズ	4 - 3	パディーJY
	クラブ与野	0 - 2	大宮アルディージャ
	鹿島アントラーズ	0 - 0	1 FC川越水上公園 (5PK4)
	Forza'02	2 - 0	FCアビリスタ
	フォルトゥナSC	0 - 2	クマガヤSC
	ACカラクテル	1 - 2	GRANDE FC
	FC KASUKABE	5 - 0	スポーツ宇都宮
	ヴェルディSS小山	1 - 0	CAアグレレ
2回戦	FC東京U-15深川	1 - 1	GRANDE FC (5PK3)
	FC KASUKABE	1 - 2	VIVAIO船橋
	鹿島アントラーズ	0 - 3	クマガヤSC
	栃木SC	2 - 3	大宮アルディージャ
	浦和レッズ	1 - 0	ジェファFC
3回戦	浦和レッズ	0 - 1	大宮アルディージャ
	クマガヤSC	3 - 0	VIVAIO船橋
準々決勝	川崎フロンターレ	2 - 1	大宮アルディージャ
	FC東京U-15深川	0 - 1	クマガヤSC
敗者復活戦	横浜FC	1 - 2	浦和レッズ
準決勝	川崎フロンターレ	3 - 2	クマガヤSC

※優勝は川崎フロンターレ。第3代表としてクマガヤSC、第5代表として大宮アルディージャ、第10代表として浦和レッズが本大会へ出場する。

第31回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月15日～24日 帯広の森球場他

●グループステージ

グループA		勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
1位	クマガヤSC	9	3	0	0	13	2	+11

グループJ		勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
3位	浦和レッズ	3	1	0	2	4	6	-2

グループL		勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
2位	大宮アルディージャ	5	1	2	0	2	1	+1

●ラウンド32

クマガヤSC	1 - 0	FC.フェルボール愛知
鹿島アントラーズつくば	2 - 1	浦和レッズ
FC東京深川	1 - 3	大宮アルディージャ

●ラウンド16

RIP ACE SC	2 - 1	クマガヤSC
大宮アルディージャ	0 - 3	三菱養和SC巣鴨

※優勝は清水エスパルスジュニアユース

4種

第40回関東少年サッカー大会

8月19日～21日 前橋市総合運動公園他

●1位トーナメント

1回戦 大宮アルディージャジュニア 0-0 ヴァンフォーレ甲府U-12 (4PK3)
 準決勝 大宮アルディージャジュニア 0-0 柏レイソルU-12 (5PK4)
 決勝 大宮アルディージャジュニア 0-1 バディーSC

※優勝はバディーSC

●2位トーナメント

1回戦 レジスタFC 0-0 JACPA東京FC (1PK3)
 順位戦 レジスタFC 4-2 SPフットサルクラブ

●3位トーナメント

1回戦 1FC川越水上公園 1-0 PALAISTRA S.S.
 準決勝 1FC川越水上公園 0-0 船橋FC (2PK3)

女子

第21回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

7月23日～30日 J-Green堺

1回戦 NGU名古屋FC 0-0 白岡SCL (3PK1)
 Dream Spread FC宮崎 0-6 浦和レッズ
 2回戦 INAC神戸 1-0 浦和レッズ

※優勝はJFAアカデミー福島

シニア

2016年度第4回全国シニア(40歳以上)サッカー大会関東予選会

6月26日 ひたちなか市総合運動公園 スポーツ広場

Aブロック

クマガヤサッカースポーツクラブ 0-0 Tドリームス (2PK4)

※Tドリームスと横浜シニアが本大会に出場する

フットサル

第12回全日本大学フットサル大会関東大会

7月10日 くまがやドーム体育館

1回戦 山梨大学蹴球部 12-3 武蔵丘短期大学Creatio

※優勝した順天堂大学、準優勝した多摩大学が本大会に出場する。

第3回全日本ユース(U-18)フットサル大会関東大会

7月3日 小瀬スポーツ公園体育館

1回戦 正智深谷 3-5 武相高校

※フットボウズ・フットサル U-18が優勝。準優勝した中央学院高等学校と本大会に出場する。

パーメントカップ 第26回全日本少年フットサル大会

8月12日～14日

●グループラウンド

グループK	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
1位 江南南サッカー少年団	9	3	0	0	16	8	+8

●決勝ラウンド

1回戦 江南南サッカー少年団 9-2 ガット2008U12(京都府)
 準々決勝 江南南サッカー少年団 5-4 山口サッカー学校(山口県)
 準決勝 江南南サッカー少年団 4-11 センアーノ神戸Jr(兵庫県)

※優勝はセンアーノ神戸Jr

インフォメーション

●「JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバルin熊谷」開催

6月12日にくまがやドームにて、「JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル in 熊谷」が開催されました。男子421人、女子21人が一生懸命ボールを追いかけてくれました。室内で、それも人工芝ということもあり、子どもたちは積極的に楽しんでくれたと思います。ぜひ多くの子もたちがサッカーを始められるといいですね。



●「ZOJIRUSHIユメセンサーキット2016」開催

7月14日と15日に「ZOJIRUSHI ユメセンサーキット2016」が所沢市立南小学校で開催されました。14日の夢先生はフリースタイルフットボールの徳田耕太郎さん、15日は元西武ライオンズの三井浩二さんでした。

徳田さんはボールと一体となったリフティングパフォーマンスを子どもたちに披露し一気に子どもたちの心をつかむと、仲間同士で助け合うチームワークゲームにも参加し、交流を深めていきました。

教室では徳田さんのこれまでの振り返りながら、レッドブル・ストリートスタイル・ワールドファイナル2012決勝で優勝した映像も披露し「夢を持ち続けること」の大切さを子どもたちに伝えていました。日本サッカー協会では、JFA こころのプロジェクトとして「夢の教室」を開催しています。詳細は http://www.jfa.jp/social_action_programme/yumesen/ をご覧ください。



●「EXILE CUP 2016 関東大会1」開催

8月14日に川口市青木町公園総合運動場陸上競技場において「EXILE CUP 2016 関東大会1」が開催されました。関東各地から51チームが集まり、9月17日に開催される全国大会への出場を目指しました。結果はフウガドルすみだエッグスが優勝。埼玉勢としてはコリンチャンス JAPAN サテライト LIVRO、浦和大谷場サッカー少年団が3位入賞しました。川口市サッカー協会の皆さん、お疲れ様でした。



浦和大谷場サッカー少年団

コリンチャンス

編集後記

皆さん、熱中症対策は十分だったでしょうか。いろいろと心配された今年の夏でしたが、皆さんの体調管理を含めた事前準備や当日対応をしていただいたおかげで、サッカーに関しては大きな問題が出ずに終わろうとしています。ですが、まだ残暑は続いていますので、気候が落ち着くまで注意喚起をお願いします。

私は関東リーグでマッチコミッショナーを担当しており、この夏はWBGT(暑さ指数)の数値を計った上で、試合中熱中症対策の一つである「Cooling Break」を行いました。その中であるチームから「ベンチの逆サイドの選手もベンチに戻ってきたほうがいいのか?」という質問をもらいました。その際、こう返事をしました。「戻ってください」と。

これは個人的な見解ですが、ベンチに戻りスポーツドリンクを一口でも飲んでほしいと思ったからです。大量に汗をかいたときに、必要なのは水分と塩分です。施設委員会からは増スタを含めた数か所はスポーツドリンクを50%薄めたものであれば大丈夫という通達は出ていますが、まだまだ県内のグラウンドではピッチサイドに置いて許されるのは水のみというところが多いのが現状です。やはり水だけでは心もとないのです。

そこで問われるのが選手の皆さんのモラルです。スポーツボトルに入れてしまえば、希釈したものかどうかはわかりません。もしかしら、ボトルの一つひとつ確認をしたほうがいいかどうかは、今後議論の対象になるかもしれません。実のところ、グラウンドを管理する側が一番心配しているのは、スポーツドリンクでうがいをしてピッチに吐き捨てることです。根腐れ、変色など様々な問題が発生する恐れがあるからなのです。

こういう話をすると、選手・スタッフの皆さんから一様に「大丈夫ですよ」と返事をしていただけますが、実際ピッチに立ってプレーして疲労がたまる中、判断が甘くなるということも往々にあるのです。様々な人に関わっていただいて、試合ができていくという状況を理解すること、[フェアプレー]に繋がるとと思いますので、今一度チーム内で話し合ってもらいたいと思います。

さて、日本代表がワールドカップ予選で初めて増スタで負けてしまいました。残念ではありますが、ここからしっかり巻き返して10月、11月と増スタに集う皆さんを喜ばせてほしいものです。応援、よろしくお願います。(荒川)